

1.阿波市の概況

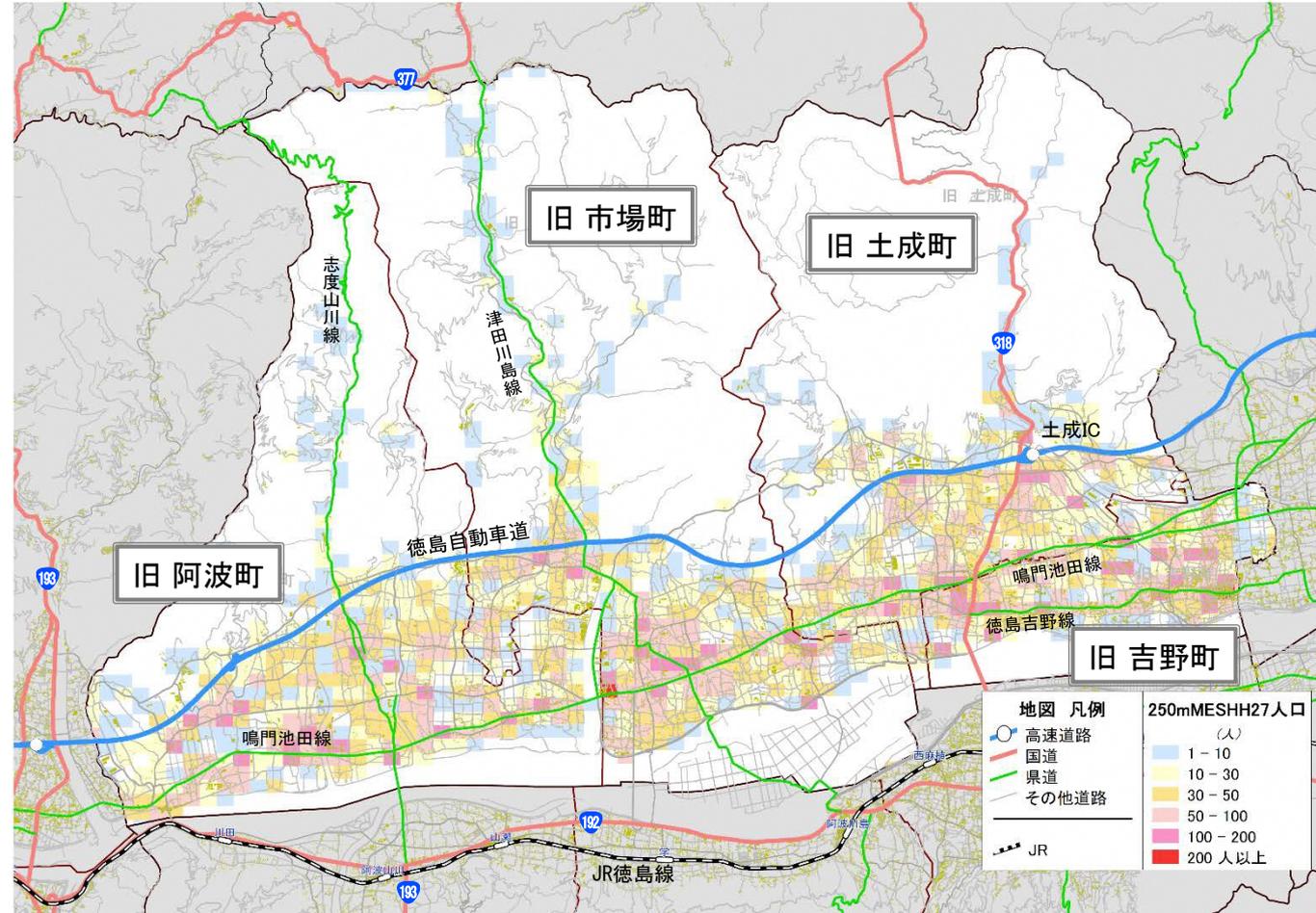
(1)人口の分布

- 阿波市は、面積191.11km²、人口372百人となっている。
- 阿波市の可住地面積は、市面積の47.0%を占めている。
- 市民は、徳島自動車道と吉野川に挟まれる東西約20kmの可住地に面的に居住している。

◆阿波市の人口の分布(平成27年)

人口	372百人
面積	191.11km ²
可住地面積	89.78km ²
市面積に対する割合	47.0%

出典)人口:平成27年国勢調査
面積・可住地面積:阿波市HP

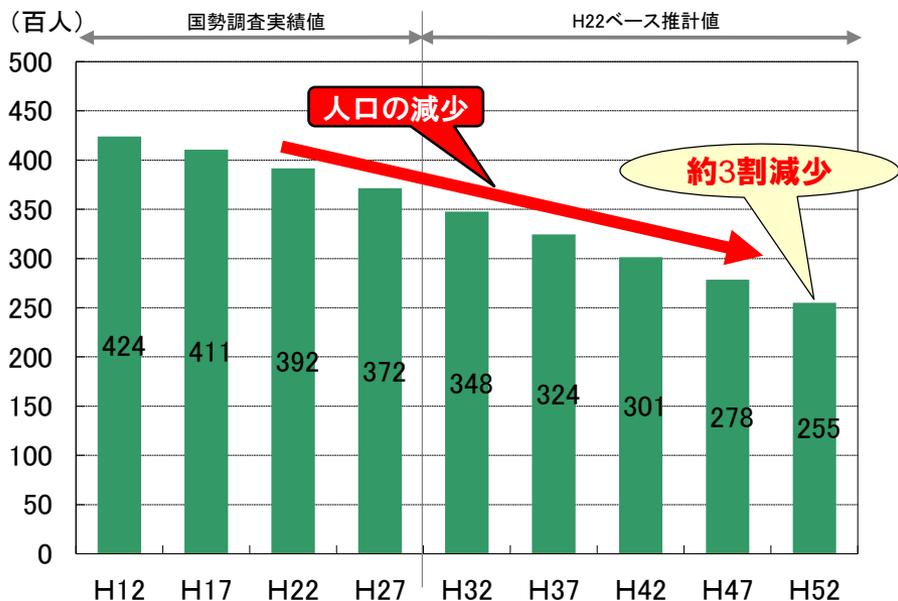


1.阿波市の概況

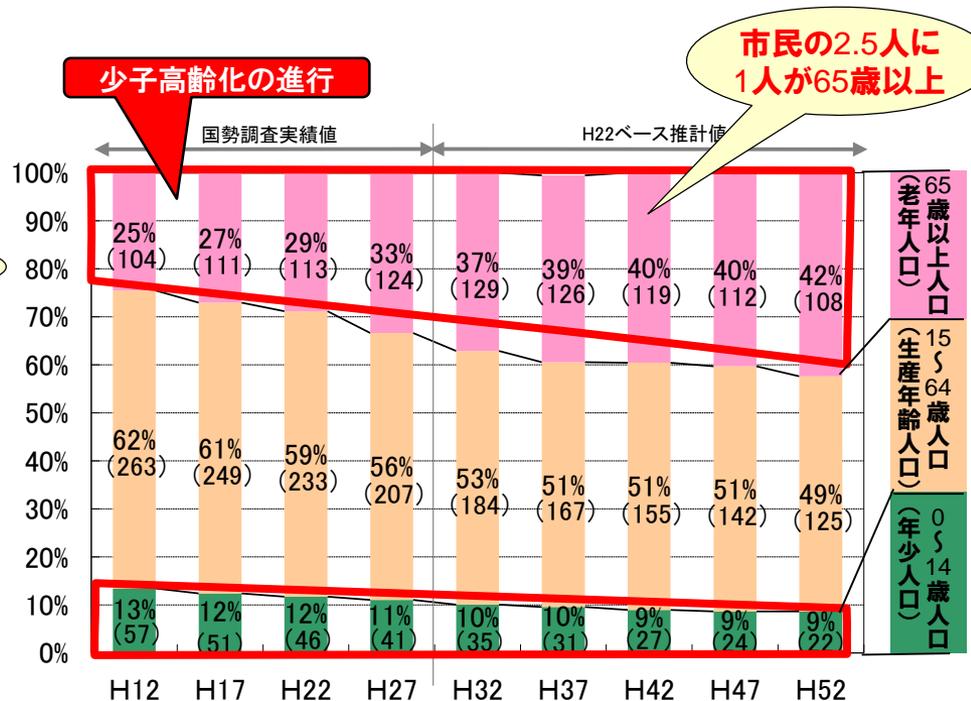
(2)人口の推移

- 阿波市の人口は、減少傾向にあり、平成52年には、平成27年の372百人から約3割減少する。
- 阿波市の年齢階層は、少子高齢化が進み、平成42年には、高齢化率は4割を超え、年少人口率は1割を下回る。

◆総人口の推移



◆年齢別階層の割合



※不明は除く

出典) H2~H27: 国勢調査、H32~H52: 国立社会保障・人口問題研究所

1.阿波市の概況

(3)通勤・通学の流動

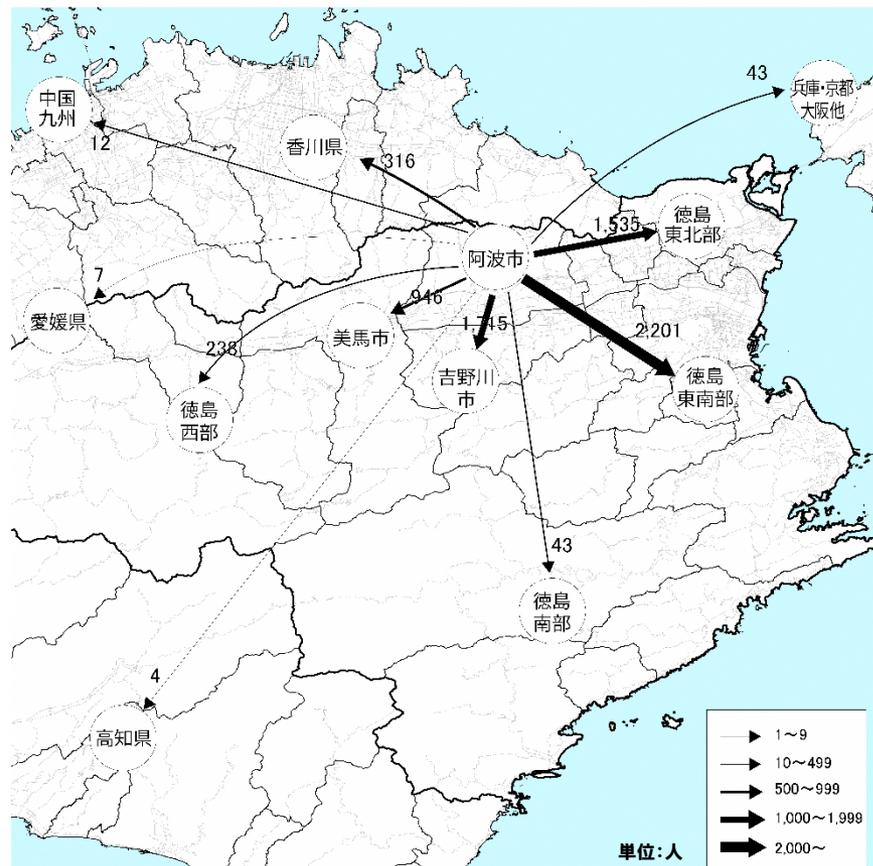
● 通勤流動は、他地域からは隣接する吉野川市、徳島東北部、美馬市からの流動が多く、阿波市からは徳島東南部（徳島市含む）、隣接する吉野川市、徳島東北部、美馬市への流動が多い。

◆通勤(他地域から阿波市へ)



徳島東北部・・・鳴門市、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町
 徳島東南部・・・徳島市、小松島市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町
 徳島南部・・・阿南市、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町
 徳島西部・・・三好市、つるぎ町、東みよし町

◆通勤(阿波市から他地域へ)



※上図は、阿波市内に居住し、阿波市内に通勤している人数(10,367人)を除いて表示している。

1.阿波市の概況

(3)通勤・通学の流動

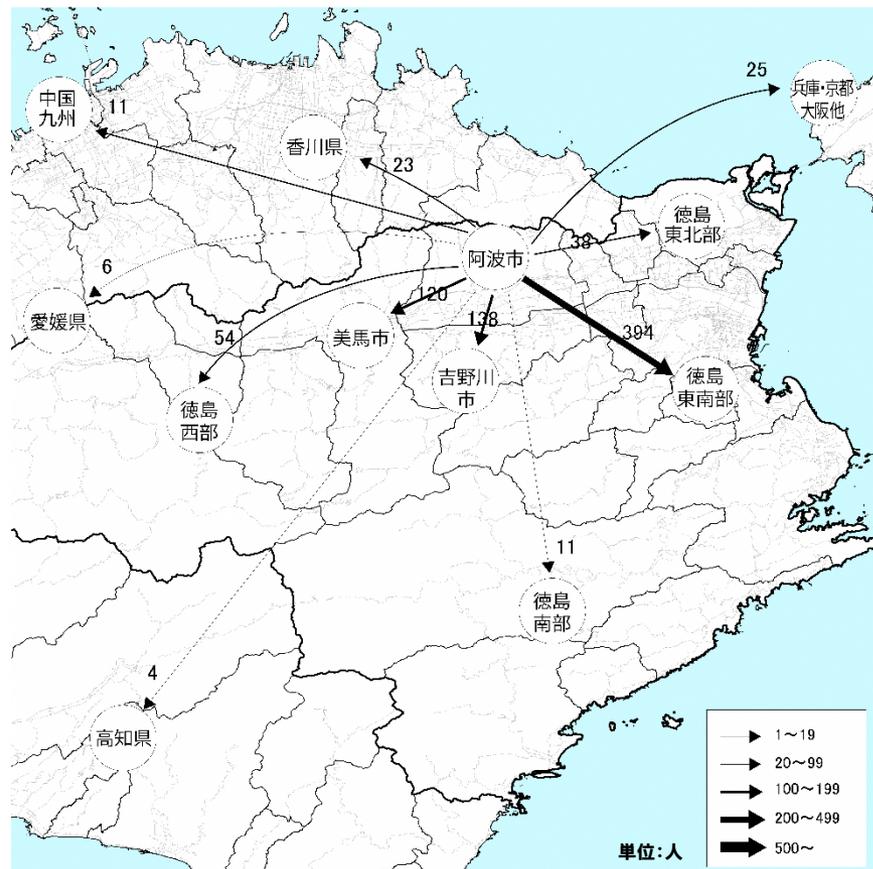
● 通学流動は、他地域からは隣接する吉野川市、徳島東北部からの流動が多く、阿波市からは徳島東南部(徳島市含む)、隣接する吉野川市、美馬市への流動が多い。

◆通学(他地域から阿波市へ)



徳島東北部・・・鳴門市、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町
 徳島東南部・・・徳島市、小松島市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町
 徳島南部・・・阿南市、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町
 徳島西部・・・三好市、つるぎ町、東みよし町

◆通学(阿波市から他地域へ)



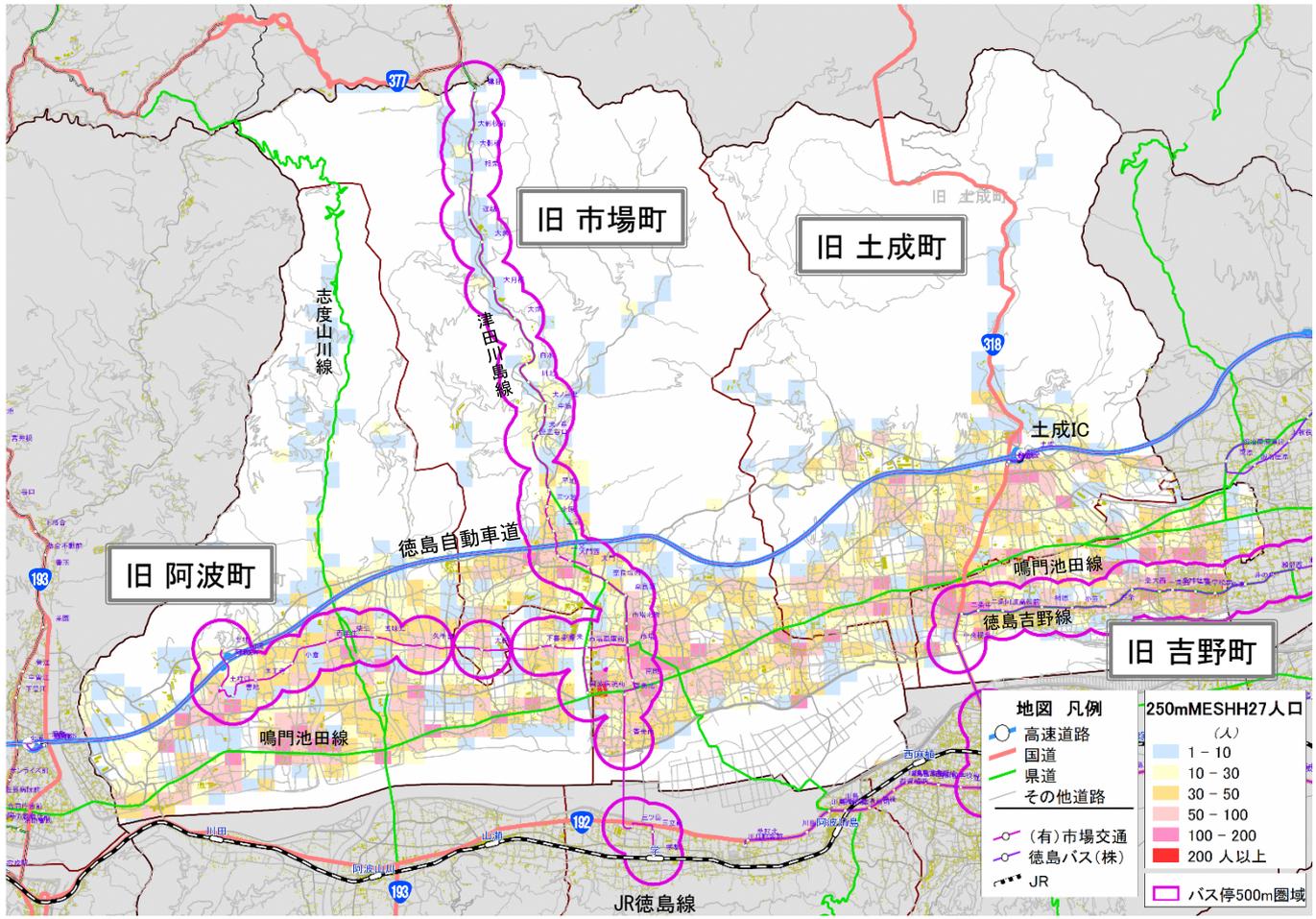
※上図は、阿波市内に居住し、阿波市内に通学している人数(714人)を除いて表示している。

2.阿波市の公共交通等

(1)路線バスネットワークと空白地域

- 路線バスの停留所を中心に半径500mで円を描いており、円外に居住している人は路線バスを利用できていないと考えられる。
- 阿波市の人口集積地のほとんどが公共交通空白地域となっている。

◆路線バスネットワークと空白地域



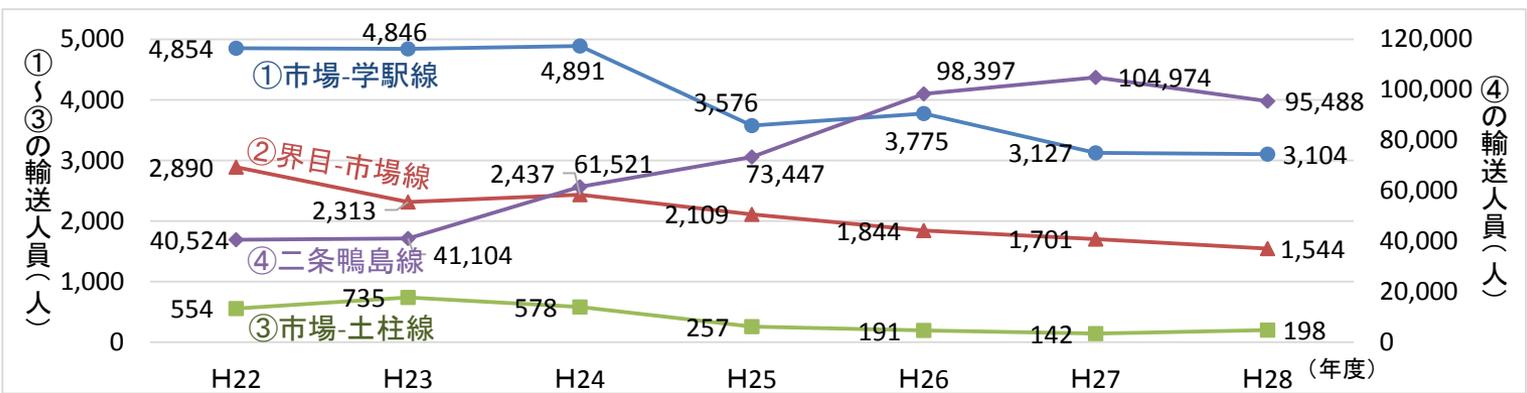
出典)ベース図:国土数値情報、バス:平成23年国土数値情報、人口:平成27年 国勢調査

2.阿波市の公共交通等

(2)路線バスの利用者数、運行本数

- 路線別にみると、④二条鴨島線は平成27年度まで増加傾向にあったが、平成28年度に減少に転じている。
- ①市場 - 学駅線、②界目 - 市場線は、減少傾向にある。
- ③市場 - 土柱線は、平成27年度まで減少傾向にあったが、平成28年度に増加に転じている。

◆路線別の利用者数



◆路線バスの運行本数

路線	運行本数(上下合計、1日あたり)	
	平日	土・日・祝日
市場 - 学 駅	16便	16便
界 目 - 市 場 線	8便	8便
市 場 - 土 柱 線	4便	4便
二 条 鴨 島 線	12便	10便
合 計	40便	38便

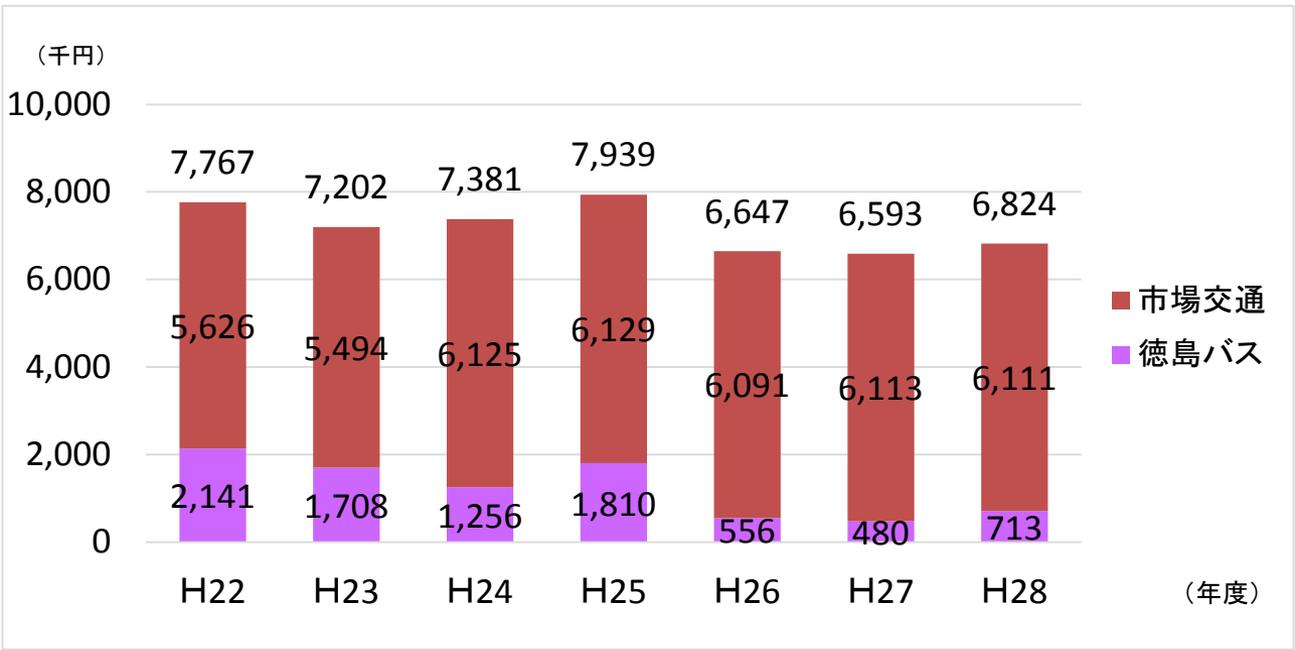
出典) 徳島バス(株)、(有)市場交通

2.阿波市の公共交通等

(3)補助額の現状

● 運輸収支が悪化した路線バスへの補助額は、毎年7百万円前後となっている。

◆路線バスへの年度別補助額(徳島バス・市場交通)



出典) 徳島バス(株)、(有)市場交通

3.阿波市の将来像と公共交通の役割

◆第2次阿波市総合計画(平成29年3月)

● 地方創生の時代の到来や、全国各地で頻発する大規模自然災害など、大きく変化する社会環境への対応と、市内における人口減少対策や雇用の確保などの課題克服に向け、「第2次阿波市総合計画」(平成29年度～平成38年度)を策定。

【基本理念】

協働・創造・自立のまちづくり

【将来像】

あすに向かって人の花咲く
やすらぎと感動の郷土・阿波市

【人口の見通し】

平成38年度の人口の予測値と目標値

予測値：31,980人
目標値：33,640人

長期的な人口の予測値と目標値（「阿波市人口ビジョン」より）



注1) 予測値は、国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠した推計による。
注2) 目標値は、合計特殊出生率と転入出数を望ましい値に設定した市独自の推計による。
注3) 「阿波市人口ビジョン」では、予測値・目標値ともに5年ごと(国勢調査年)の数値となっているため、平成38年度の数値は、按分して算出し、10人単位としている。

資料：第2次阿波市総合計画

【政策目標】

政策目標	方針
やさしく健やかな阿波 (健康・福祉・子育て分野)	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命の延伸や予防を重視した取り組み 住み慣れた地域で安心して暮らせるサポート体制づくりや安心して子育てができる環境づくり
安全・安心・快適な阿波 (生活環境分野)	<ul style="list-style-type: none"> 大規模自然災害への対応力強化のための広域的な防災体制づくり 快適な生活環境づくり
人が輝き合う阿波 (教育・文化分野)	<ul style="list-style-type: none"> 知・徳・体の調和のとれた「生き抜く力」、「郷土愛」の育成 「アエルワ」や豊富な社会体育施設を活用した市民主体の文化・スポーツ活動の支援
豊かで活力ある阿波 (産業分野)	<ul style="list-style-type: none"> 「阿波市ブランド」の確立や地産地消の促進、担い手の育成 オーダーメイド型の企業誘致、未利用地・建物を活用した企業誘致と雇用促進
明日への基盤が整った阿波 (生活基盤分野)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な土地の利用や道路・公共交通・情報ネットワークの形成 住宅の整備・確保、定住・移住をサポートする施策の推進、情報発信の強化
共に生き、共につくる阿波 (共生・協働・行財政分野)	<ul style="list-style-type: none"> 市民や市民団体、民間企業等の参画・協働の促進 より効率的な運営、選択と集中による事業の重点化

3.阿波市の将来像と公共交通の役割

◆第2次阿波市総合計画(平成29年3月)

【公共交通の役割】

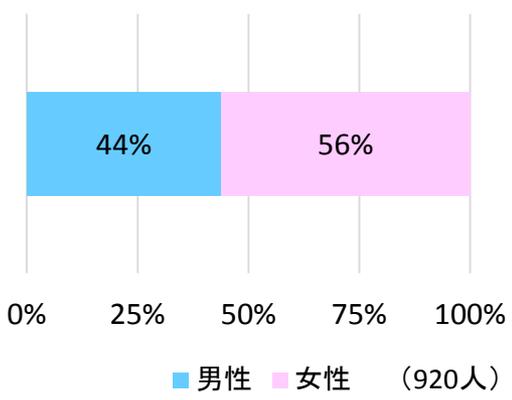
政策目標	公共交通の役割
やさしく健やかな阿波 (健康・福祉・子育て分野)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が、病院、趣味、レクリエーション等へ自らの足で外出することを促進することにより、健康増進に寄与 子育て中の親が、<u>交通事故のリスクが小さく、子どもと会話をしながら移動できることにより、親子の移動中の安全確保や子育て支援に寄与</u>
安全・安心・快適な阿波 (生活環境分野)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の<u>自動車からの転換、高齢者の自動車免許返納の促進により、交通安全性の確保、環境保全の確保、地球温暖化の抑制に寄与</u> 誰もが、身近なスポーツ・レクリエーションの場、交流・いこいの場である<u>公園、緑地に自由にアクセスできることにより、市民の生活環境の向上に寄与</u>
人が輝き合う阿波 (教育・文化分野)	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が、<u>家族の送迎(自動車)に頼ることなく通学、課外活動後の帰宅ができることにより、交通安全性の確保、家族の負担軽減に寄与</u> 誰もが、図書館や公民館、交流防災拠点施設「アエルワ」などの<u>生涯学習関連施設に、自由にアクセスできることにより、生涯学習の充実に寄与</u> 誰もが、<u>緑の丘スポーツ公園、交流防災拠点施設「アエルワ」などの文化・スポーツ施設に自由にアクセスできることにより、文化・スポーツ活動の活性化に寄与</u>
豊かで活力ある阿波 (産業分野)	<ul style="list-style-type: none"> 市民、市外からの訪問者の誰もが、<u>阿波市の観光・交流拠点や各種イベントに自由にアクセスできることにより、観光の振興に寄与</u> <u>通勤や移動環境の利便性確保による雇用者の生活環境向上により、新規企業の立地促進に寄与</u>
明日への基盤が整った阿波 (生活基盤分野)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の移動ニーズへの対応により、<u>市民生活における身近な交通手段の確保に寄与</u> <u>阿波市内の移動環境の利便性確保により、若者の定住や団塊の世代の移住の促進に寄与</u>
共に生き、共につくる阿波 (共生・協働・行財政分野)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の<u>みんなが支える公共交通の意識醸成と実行により、市民参画・協働の促進に寄与</u> <u>効率的な公共交通、市民が利用する公共交通により、効率的で持続可能な財政運営に寄与</u>

4.公共交通の利用状況・ニーズ(住民アンケート結果(H28.3))

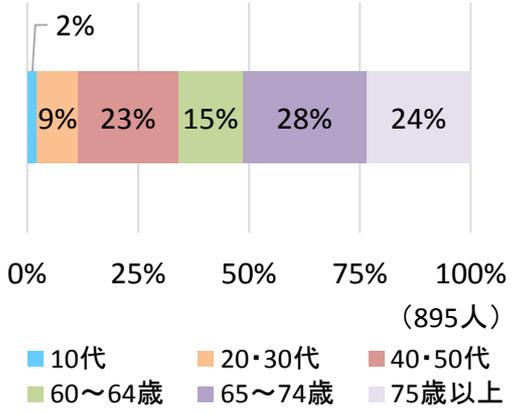
(1)回答者の属性

本資料の住民アンケート結果は、拡大係数を付与せず、アンケート回答者の結果をそのまま集計しているため、阿波市地域公共交通アンケート調査業務 調査結果報告書(平成28年3月)とは数値が一致しない。
 ※阿波市地域公共交通アンケート調査業務 調査結果報告書(平成28年3月)は拡大係数を付与した集計結果

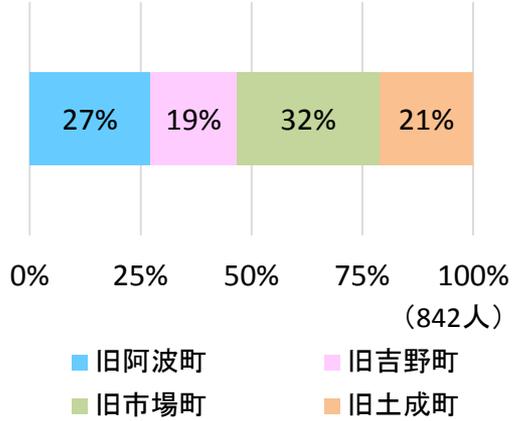
◆性別



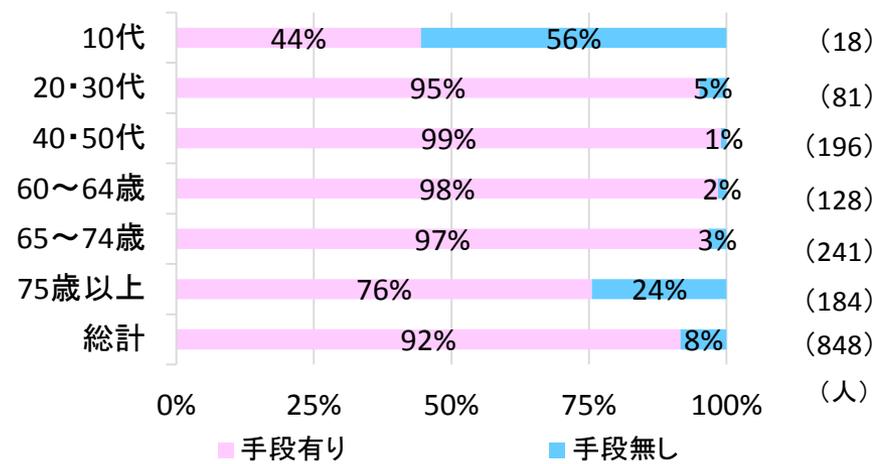
◆年齢構成



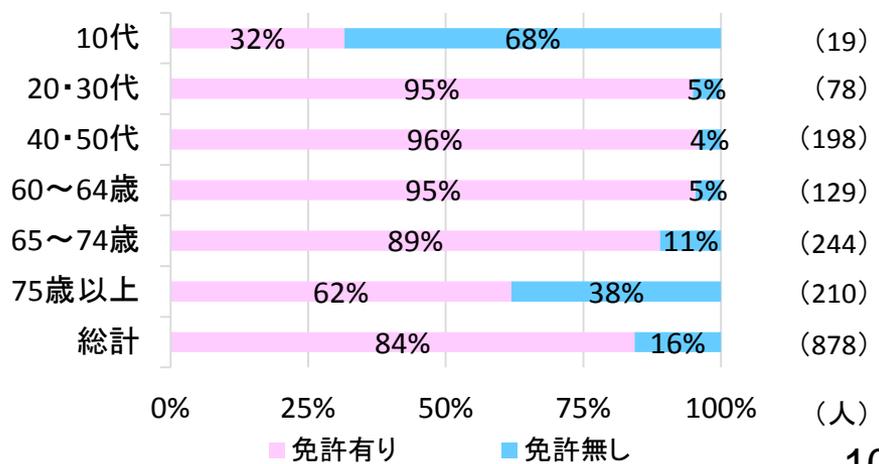
◆居住地



◆自由に使える交通手段(自動車・バイク・原付)の有無

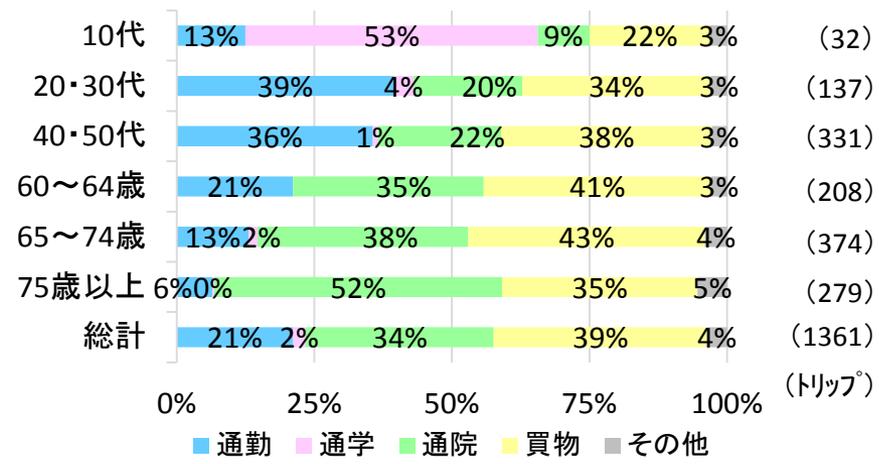


◆運転免許証(自動車・バイク・原付)の有無



4.公共交通の利用状況・ニーズ(住民アンケート結果(H28.3))

◆外出目的

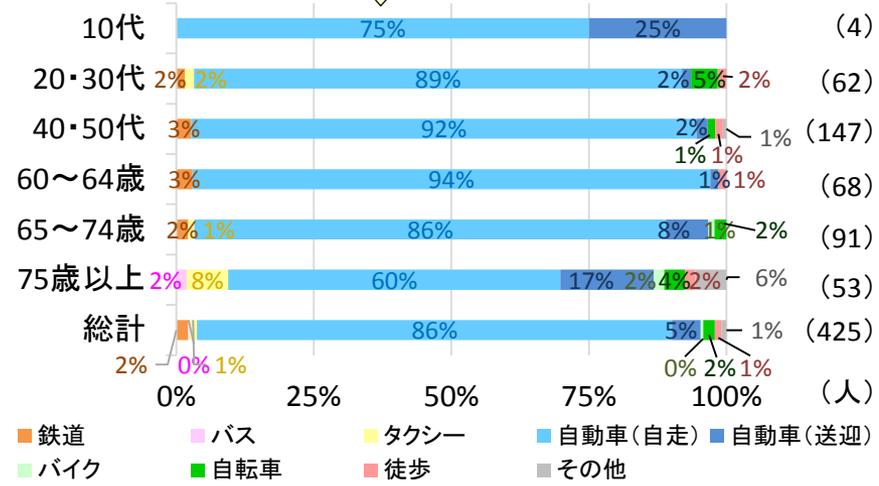


60～74歳では買物が多く、75歳以上では通院が多い

◆主に利用する交通手段

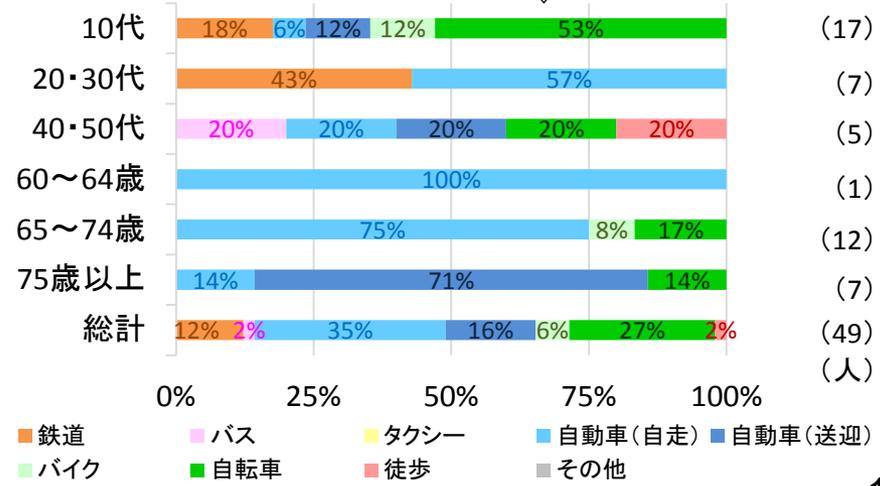
・通勤

自動車(自走、送迎)が大半を占める



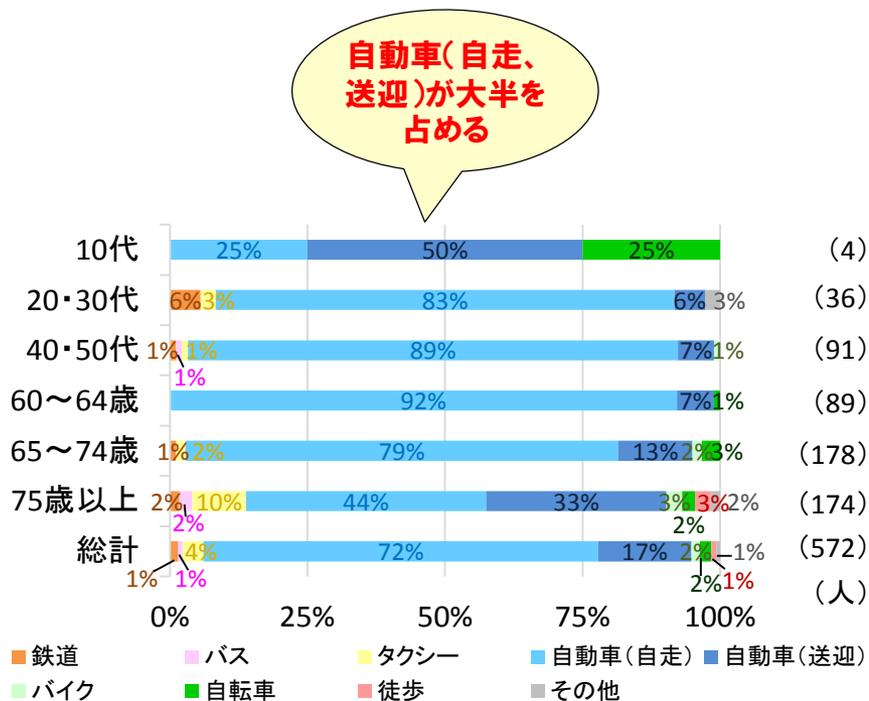
・通学

10代の通学は、自転車が

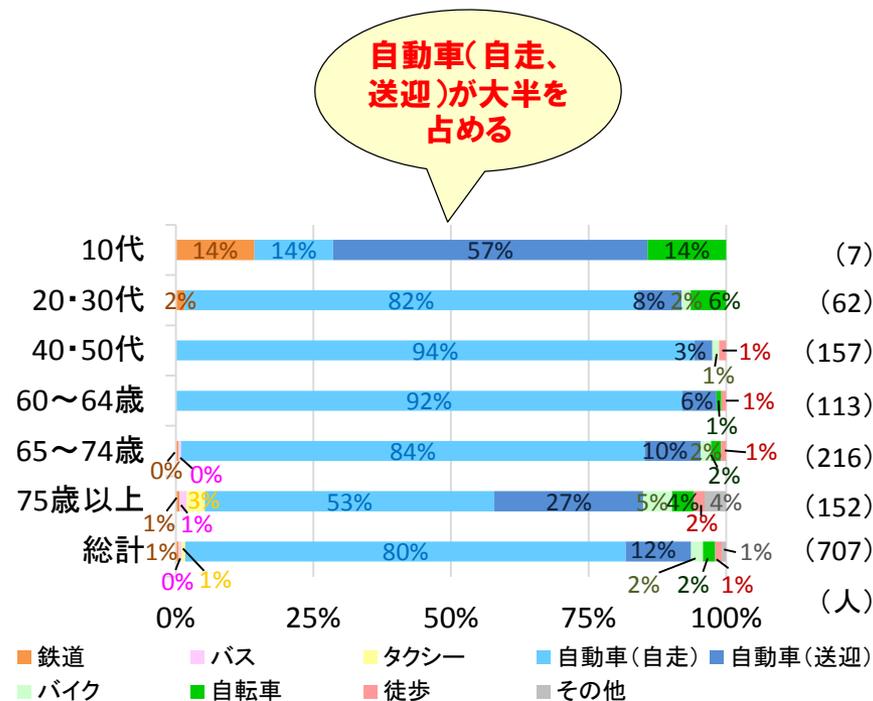


4.公共交通の利用状況・ニーズ(住民アンケート結果(H28. 3))

・通院



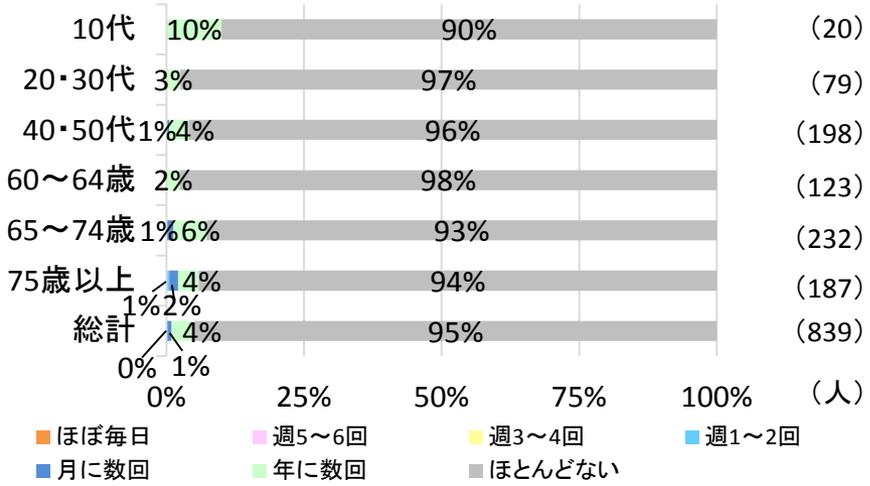
・買物



4.公共交通の利用状況・ニーズ(住民アンケート結果(H28.3))

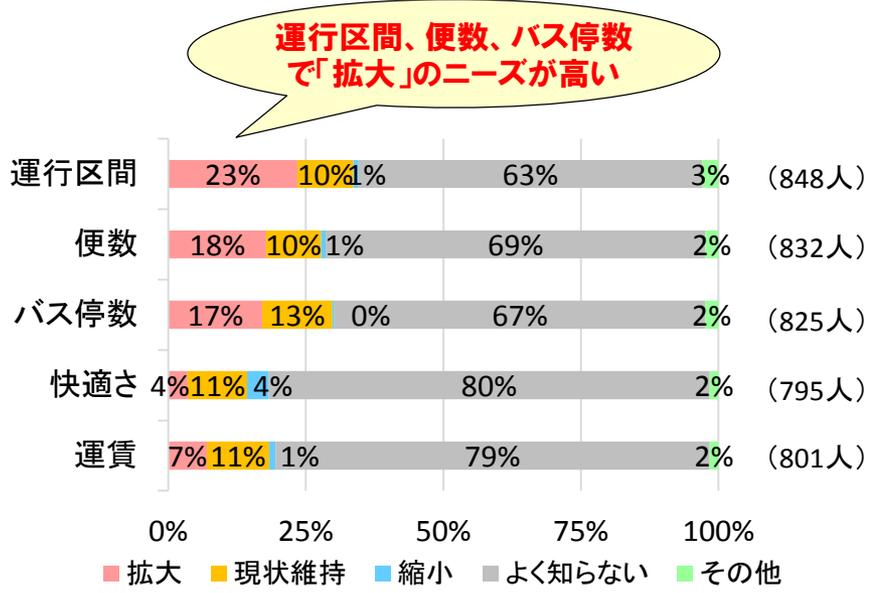
(2)路線バスの認識と利用状況、評価

◆利用状況



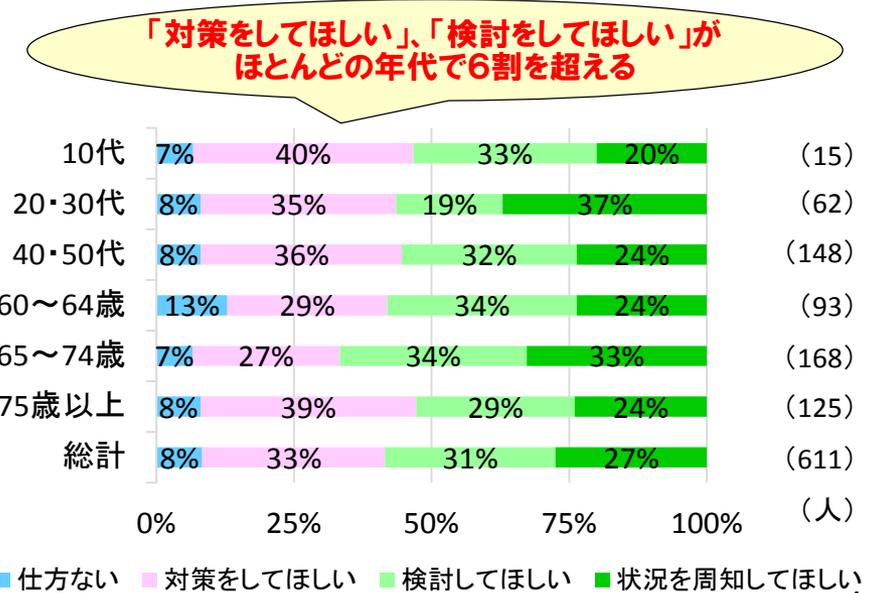
路線バスは、ほとんど利用されていない

◆路線バスの評価



運行区間、便数、バス停数で「拡大」のニーズが高い

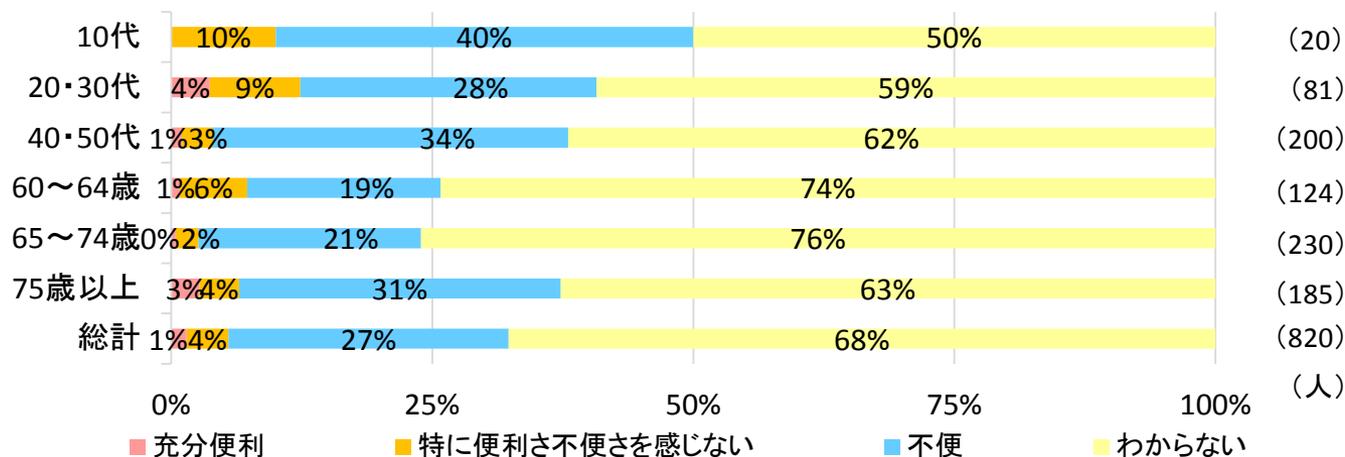
◆路線バス空白地域に対する意識



「対策をしてほしい」、「検討をしてほしい」がほとんどの年代で6割を超える

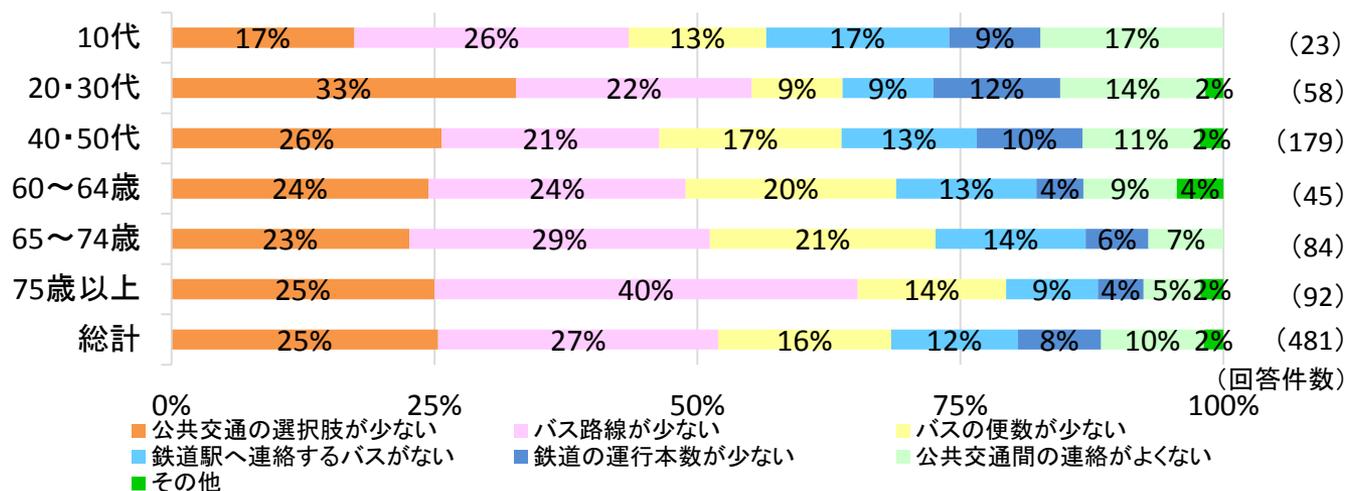
4.公共交通の利用状況・ニーズ(住民アンケート結果(H28.3))

◆現在の公共交通の利便性



「充分便利」は全ての年代で1割に満たない
「不便」と回答している年代は10代が多い

◆不便だと感じる理由

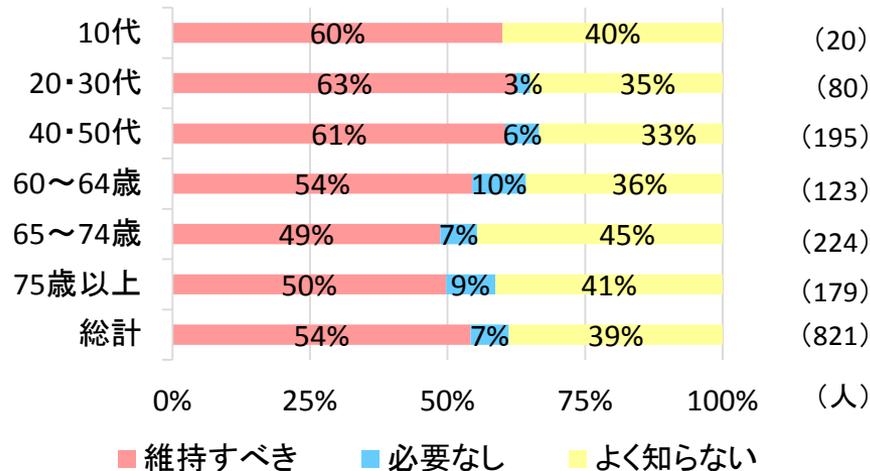


「バス路線が少ない」を1番に挙げている年代が多い

4.公共交通の利用状況・ニーズ(住民アンケート結果(H28.3))

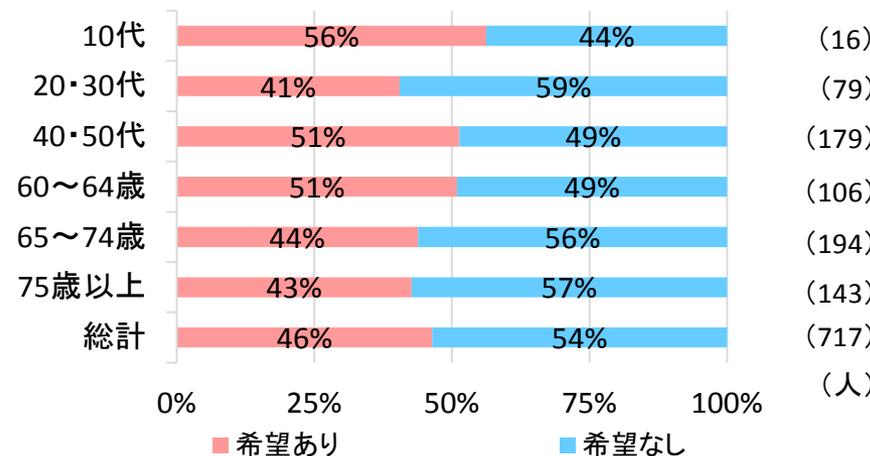
(3)将来の公共交通に関する認識

◆公共交通の維持に関する認識



「維持すべき」がほとんどの年代で5割を超える

◆路線の拡充などを希望する新たな公共交通機関の有無



10代で「希望あり」が高い